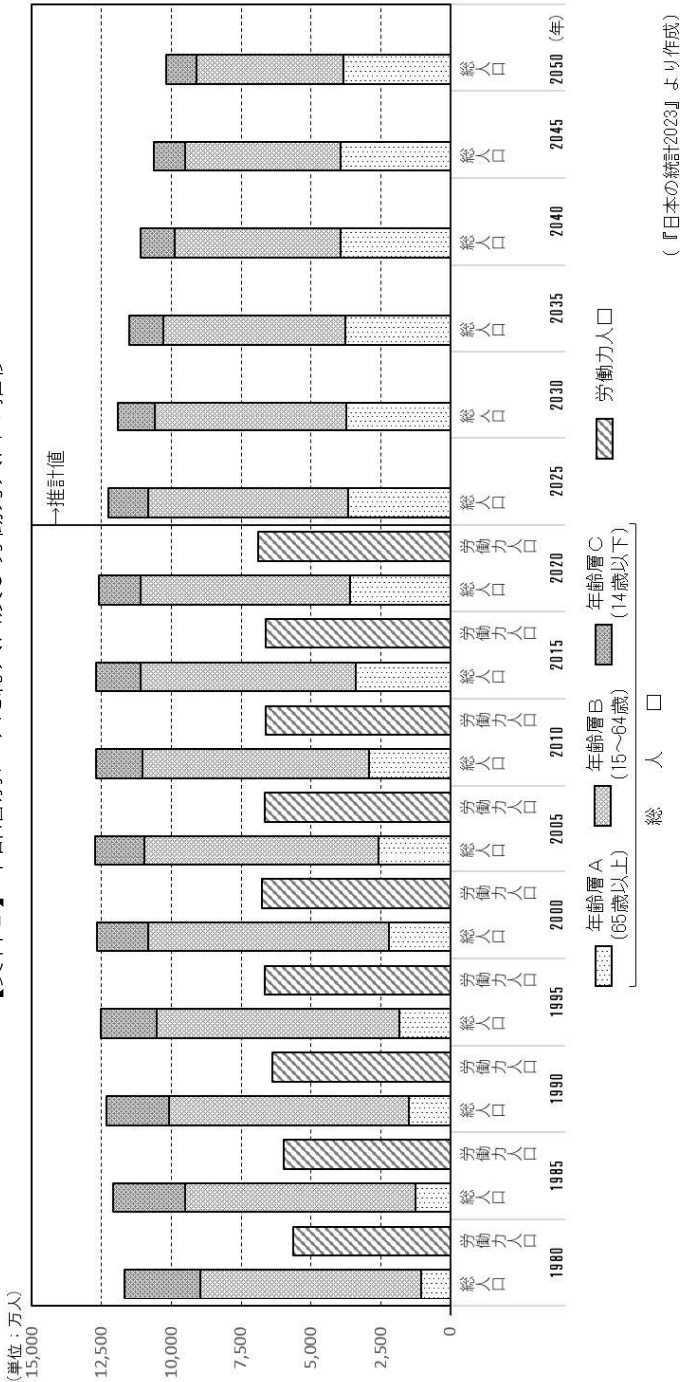


【資料1】 年齢層別にみた総人口及び労働力人口の推移



※2025年以降は推計値であり、総人口のみを示している。

【資料2】 労働力人口の内訳の推移

年	総数 (万人)	男性数		女性数	
		(万人)	年 齢 層 A (%)	(万人)	年 齢 層 B (%)
1980	5,650	3,465	5.3	2,185	4.3
1985	5,963	3,596	5.2	2,367	4.8
1990	6,384	3,791	5.7	2,593	5.5
1995	6,666	3,966	7.0	2,701	6.2
2000	6,766	4,014	7.7	2,753	6.6
2005	6,651	3,901	8.1	2,750	6.8
2010	6,632	3,850	9.4	2,783	8.0
2015	6,625	3,773	12.1	2,852	10.2
2020	6,902	3,840	14.3	3,063	12.1

(「e-Stat」より作成)

※総数・男性数・女性数については、1万人に満たない千の位の数を四捨五入しているため、男性数と女性数の合計が総数と合わない場合がある。

※年齢層A、年齢層Bの数値は、男性数、女性数における割合を示している。

1

【資料1】・【資料2】は、日本の総人口と労働力に関する資料である。

【資料1】・【資料2】から次の4点を読み取り、さらに今後の労働力の確保について、あなたの考えを三〇〇字以内で述べなさい。

- ① 【資料1】 総人口の変化
- ② 【資料1】 総人口を構成する各年齢層の変化
- ③ 【資料1】 *労働力人口の変化
- ④ 【資料2】 労働力人口の内訳の変化

なお、この問題の解答にあたっては、段落分けの必要はありません。最初のマス目から書き始めること。

*労働力人口・・・総人口のうち、満15歳以上の人口から非労働力人口（通学者、家事に従事する者、病気や老齢で働けない者）を差し引いた人口。
完全失業者（働く能力と意志を持ち、求職活動をしているにもかかわらず、就業の機会を得られない人）をも含む。